

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 25 年 5 月 23 日  
東京電力株式会社

## < 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (5/23 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.0 m <sup>3</sup> /h	24.2	106.3 kPa abs	A系： 0.06 vol%
		給水系：約 2.4 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.05 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 3.5 m <sup>3</sup> /h	37.3	5.73 kPa g	A系： 0.07 vol%
		給水系：約 2.0 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.06 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 3.5 m <sup>3</sup> /h	35.3	0.25 kPa g	A系： 0.13 Vol%
		給水系：約 2.0 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.12 vol%

\*：絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

## < 2. 使用済燃料プールの状況 > (5/23 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	23.0
2号機	循環冷却システム	運転中	22.1
3号機	循環冷却システム	運転中	19.8
4号機	循環冷却システム	運転中	28

各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘヒドラジンの注入を適宜実施。

[6号機]・H25/5/20～ 使用済燃料プール内に設置されている使用済燃料ラックの点検を開始。

その後、5/23 15:10 頃 当社社員が当該ラック点検記録ビデオの確認中に、使用済燃料プール東側底部に異物(アイナット\*のようなもの)を発見。今後、異物の回収等を行う予定。

\*重量のある機械をクレーンでつり上げる際、ワイヤー等を接続する環状の金具

## < 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	3号機タービン建屋地下	5/18 10:10～ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋	集中廃棄物処理施設 [ 雑固体廃棄物減容 処理建屋 (高温焼却炉建屋) ]	5/15 17:20～ 移送実施中

・H25/1/28 東北地方太平洋沖地震により、建屋および屋外トレンチが浸水している5・6号機について、建屋内の水位上昇を抑制するため、建屋内滞留水の移送を継続しているが、更なる安全性向上に資することを目的として、非常用ガス処理系\*1の屋外トレンチから仮設タンクへの滞留水の移送を開始。

\*1 原子炉建屋内の空気を高性能のフィルターで浄化して排気筒より放出する系統で、(A)、(B)の2系列ある。

< 4 . 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (5/23 7:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)
運転状況	停止中	運転中*	停止中	水バランスをみて 断続運転	水バランスをみて 断続運転

\* フィルタの洗浄を適宜実施。

- ・H23/6/8 ~ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。
- ・H25/3/30 9:56 ~ 多核種除去設備(ALPS)の3系統(A~C)のうちA系統において、水処理設備で処理した廃液を用いた試験(ホット試験)を開始。

< 5 . その他 >

- ・H23/10/7 ~ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5, 6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。
- ・H24/4/25 ~ 地下水による海洋汚染拡大防止を目的として、遮水壁の本格施工に着手。
- ・H25/1/8 ~ 4号機燃料取り出し用カバーのクレーン支持用架構および燃料取扱機支持用架構の鉄骨建方を開始。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

< 地下貯水槽に貯水している水移送実績 >

5/21 10:19 ~ 5/23 16:02 地下貯水槽 No.6 から G6 タンクへの移送を実施。なお、地下貯水槽 No.3 および No6 から G6 タンクへの移送については、共通の移送ラインを使用することから、交互に切り替えて移送を実施することとしており、地下貯水槽 No.3 から G6 エリアへの移送については、5/25 に再開予定。

< 拡散防止対策 >

5/23 地下貯水槽 No.1 ~ 3の漏えい検知孔内に漏えいした水および地下貯水槽 No.2 のドレン孔に漏えいした水をノッチタンクへ移送する処置を実施。

< サンプルング実績 >

5/22 地下貯水槽 No.1 ~ 7のドレン孔水(14 箇所)、地下貯水槽 No.1 ~ 4, 6の漏えい検知孔水(10 箇所のうち2箇所は試料採取不可)、地下貯水槽観測孔(22 箇所)についてサンプルングを実施。分析の結果、前回の分析結果と比較して大きな変動は確認されていない。また、5/15 に採取した地下貯水槽 No.1 ~ 4, 6のドレン孔水(10 箇所)および漏えい検知孔水(10 箇所のうち2箇所は試料採取不可)の水についてトリチウムの分析を実施した結果、前回の分析結果と比較して大きな変動は確認されていない。

5/23 地下貯水槽 No.2 周辺で新たに掘削した観測孔2箇所(2-8, 2-13)および、昨日(5/22)の分析結果において、全ベータが検出された観測孔(2-10, 2-11)の採取ならびに全ベータの分析を実施した結果、観測孔 2-10 において昨日(5/22)と同じレベルの全ベータが検出( $7.1 \times 10^{-2} \text{Bq/cm}^3$ )されたが、2-8, 2-11 および 2-13 については検出限界値未満であった。

明日(5/24)は観測孔 2-1 から 2-13 の採取ならびに分析を予定。

以上